

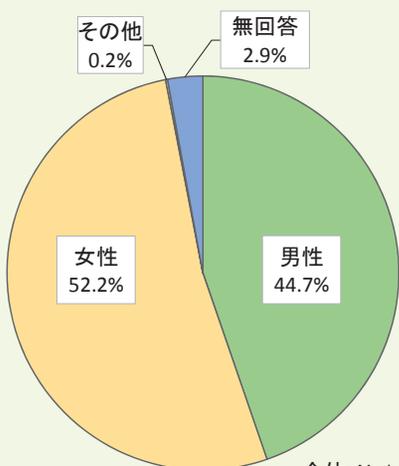
飯塚市人権問題市民意識調査

【報告書 概要版】

このたび、市民の皆様の人権問題に対する意識について把握し、今後の人権教育や人権啓発を推進していくため「人権問題市民意識調査」を実施しました。今回の調査結果をもとに、飯塚市が目指す「人権を大切に
する市民協働のまちづくり」を推進するため、より効果的な人権教育・啓発に取り組んでまいります。

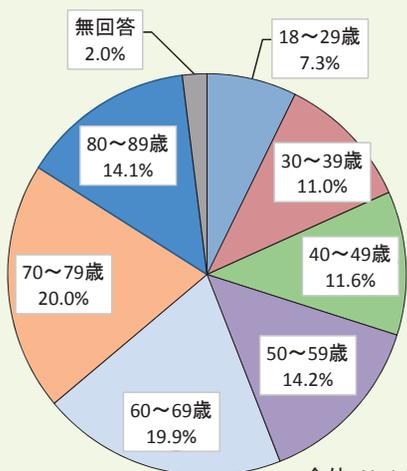
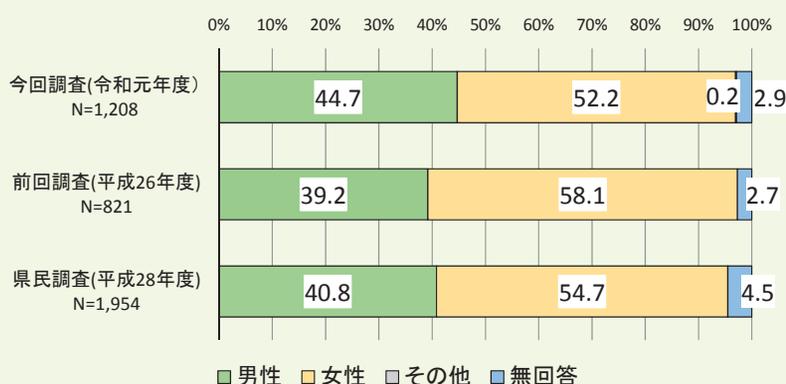
調査の概要

- ◆調査対象 飯塚市に住民登録している18歳以上の市民を対象に3,000人を無作為抽出
- ◆調査方法 郵送による調査
- ◆調査期間 令和元(2019)年9月10日(火)～10月9日(水)
- ◆回収状況 回収数1,208人(回収率40.3%)



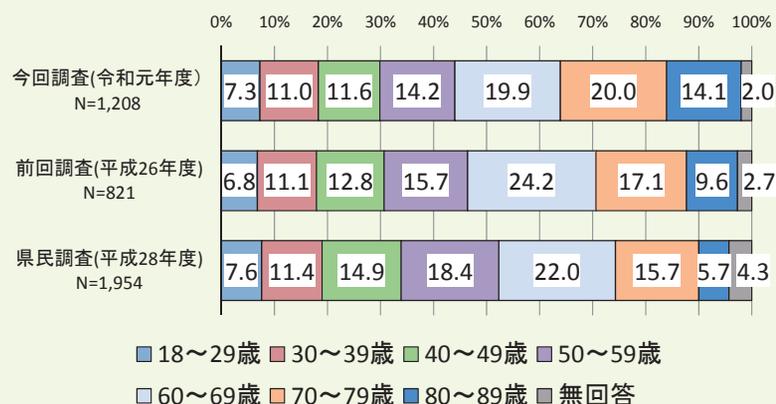
全体: N=1,208

調査別_性別比



全体: N=1,208

調査別_年代比



(注記) ※「前回調査」・・・平成26(2014)年度 飯塚市「人権問題市民意識調査」
 ※「県民調査」・・・平成28(2016)年度 福岡県「人権問題に関する県民意識調査」
 ※対象年齢について、前回調査及び県民調査は20歳以上ですが、今回の調査は18歳以上となっています。
 ※割合(%)は、端数処理を行わず小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合があります。
 ※図表中の「N」は回答者の全体数で、「n」は区分ごとの小計数となります。

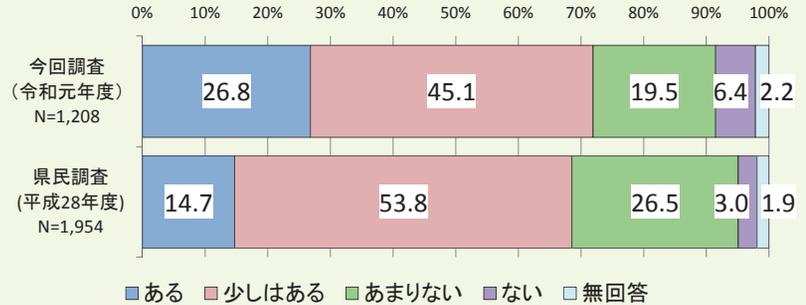
人権全般

【人権問題についての関心】

問. 現在の日本社会にはさまざまな人権問題がありますが、あなたは「人権問題」に対して興味や関心がありますか。

関心が「ある」または「少しはある」を選んだ人の割合を合計すると71.9%でした。

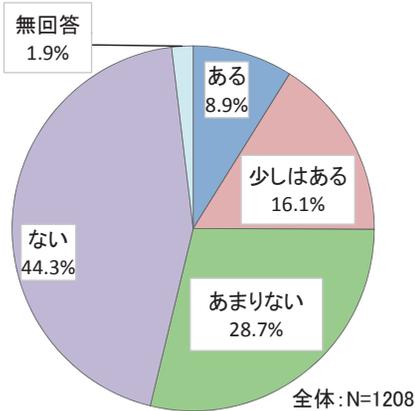
この数値は、県民調査の割合と比べると、やや高くなっています。



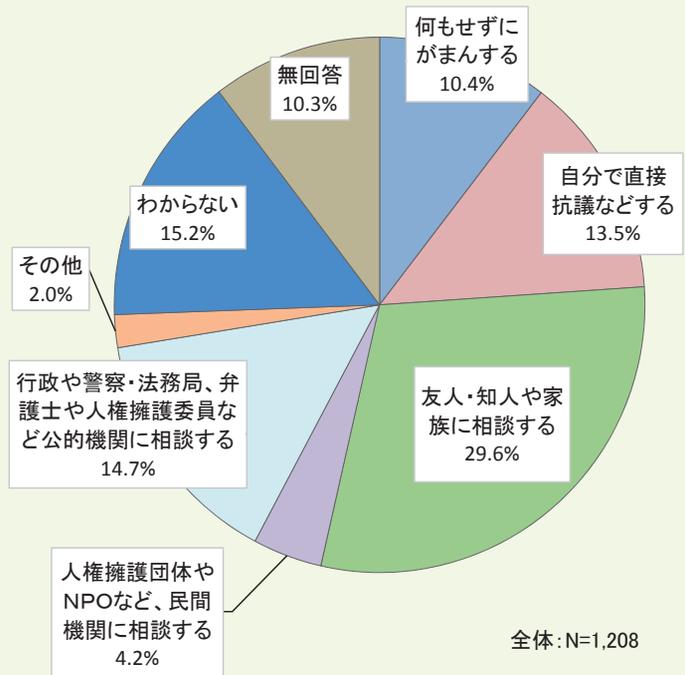
【人権が侵害された場合の対処】

問. あなたは、自分の人権が侵害された場合、どのように対処しますか。

【問】 あなたは、これまで自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。



人権が侵害された経験が「ある」または「少しはある」と回答した人は約25%いました。

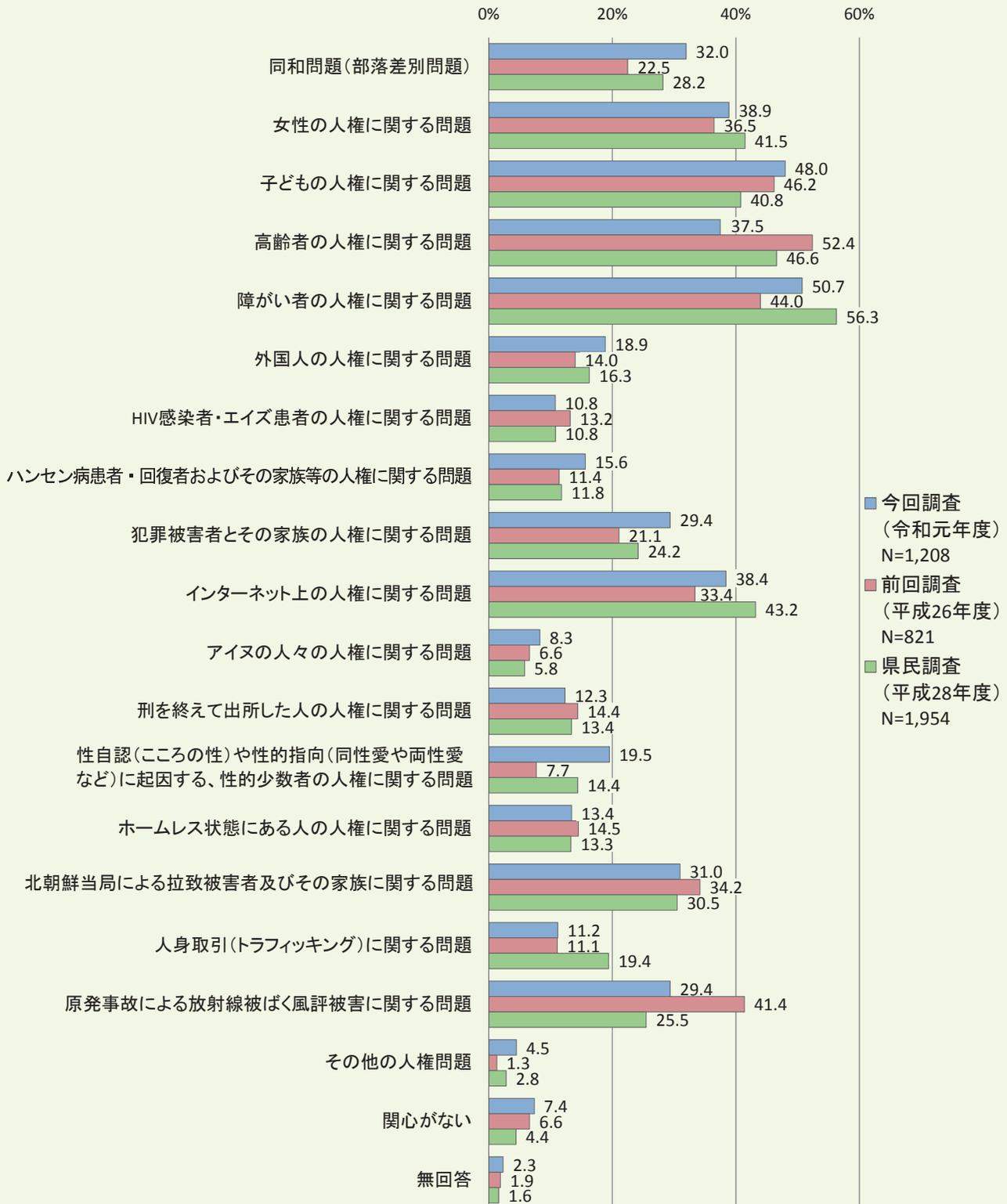


また、人権が侵害された場合の対処について最も多かった回答が「友人・知人や家族に相談する」で29.6%、次いで「わからない」が15.2%、「…公的機関に相談する」が14.7%となっていました。

人権侵害を受けたと感じても、公的機関に相談する人は少なく、公になる人権侵害事象は一部であると考えられます。

【関心がある人権問題】

問. 日本の社会には、さまざまな人権問題がありますが、あなたはどの人権問題に関心がありますか。

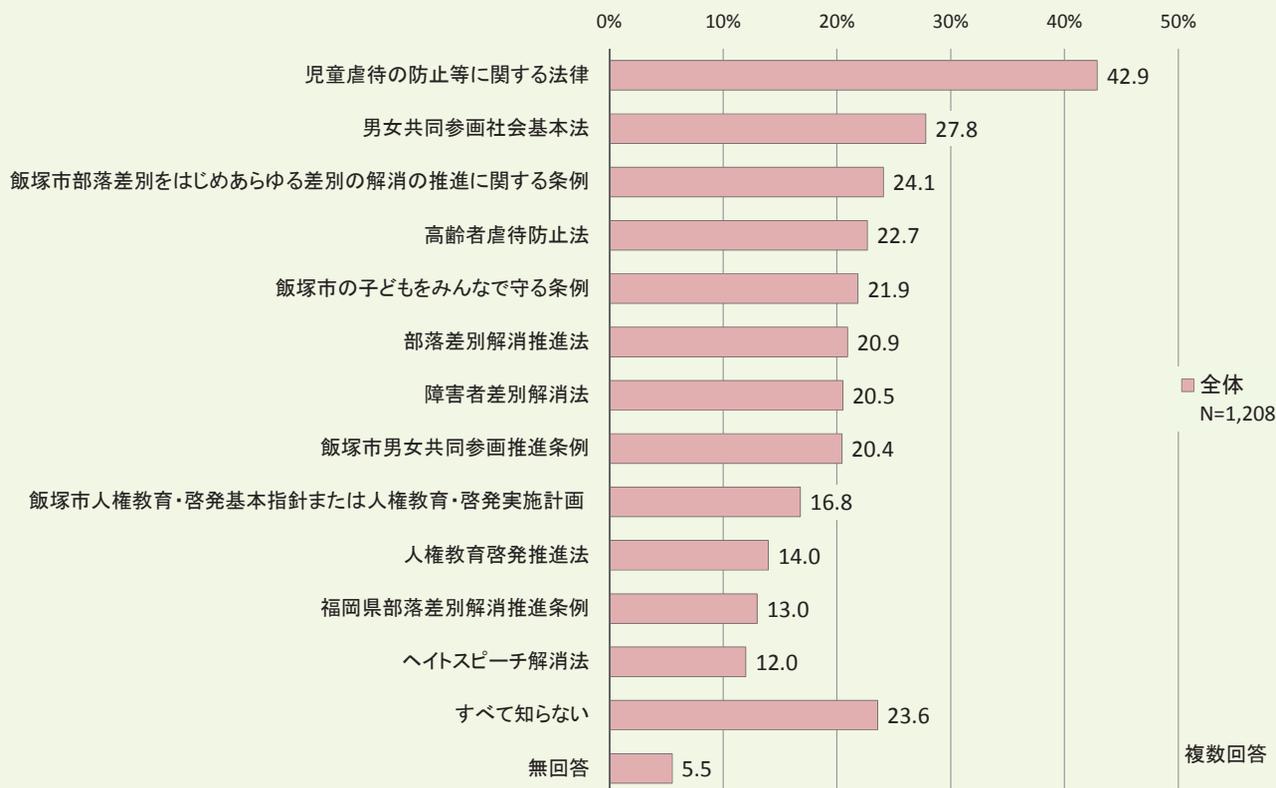


県民調査と比べると、「高齢者の人権に関する問題」で 9.1ポイント、「障がい者の人権に関する問題」で 5.6 ポイント低くなっていましたが、「子どもの人権に関する問題」では 7.2 ポイント高くなっていました。

また、前回調査と比べると、「同和問題(部落差別問題)」が 9.5ポイント、「障がい者の人権に関する問題」が 6.7ポイント、「インターネット上の人権に関する問題」が 5.0ポイント高くなっていましたが、「高齢者の人権に関する問題」は 14.9ポイント低くなっていました。

【法律や条例等の周知】

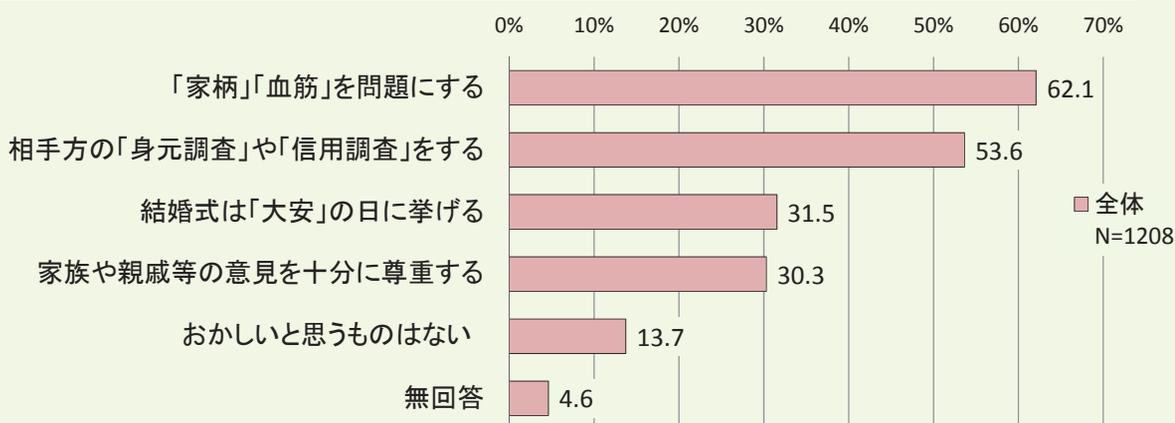
問. さまざまな人権問題に関連する次の法律や条例等の内、おおまかな内容も含めて知っているものすべてに○をつけてください。



法律や条例をどのくらい知っているのかは、その認知度を高めるための教育や啓発が、どの程度継続的に展開されたかに直接影響されます。そのため、今後、教育や啓発の中で、法律や条例についてどのように取り組んでいくのが重要な課題となります。

【結婚に際しての行動】

問. 結婚に際しての次の行動のうち、あなたが「おかしいと思う」ものすべてに○をつけてください。

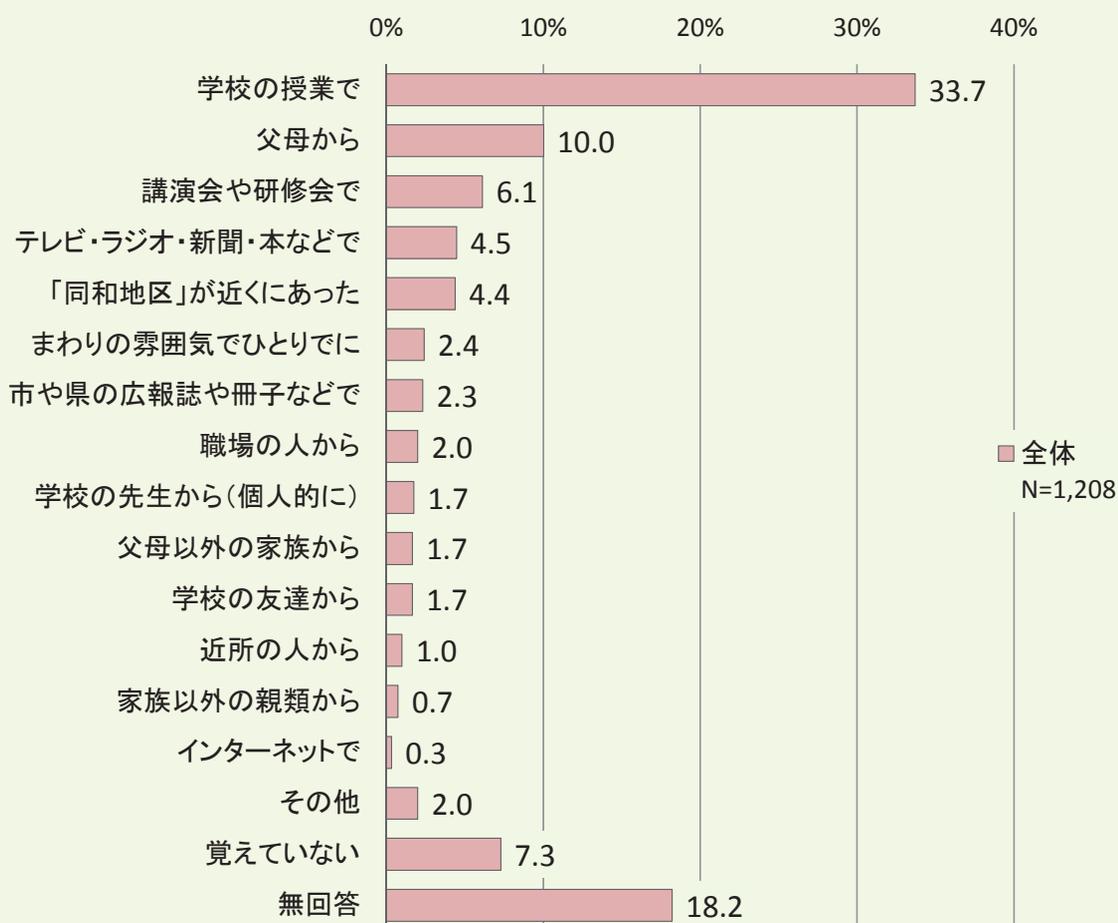


「家柄・血筋を問題にする」が62.1%、また「身元調査や信用調査」は53.6%で、どちらも前回調査とほぼ同じ数値でした。これに対し、「家族や親戚等の意見を十分に尊重する」は30.3%、「おかしいと思うものはない」は13.7%となっていました。なお、年代別の回答傾向では、「18～29歳」で他の年代に比べ「家柄・血筋」にこだわらず、人柄を大切に思う傾向がうかがえました。

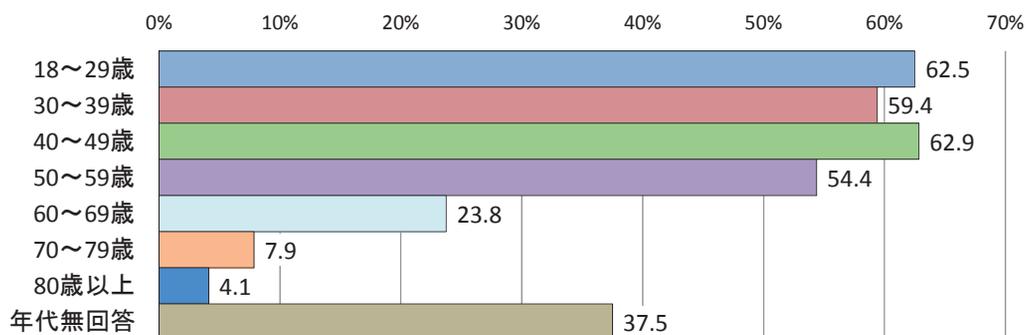
同和問題（部落差別問題）

【認知の時期】

問. あなたが同和問題（部落差別問題）を初めて知ったのは、何によってですか。



【「学校の授業で」を選んだ人の年代別の回答割合】

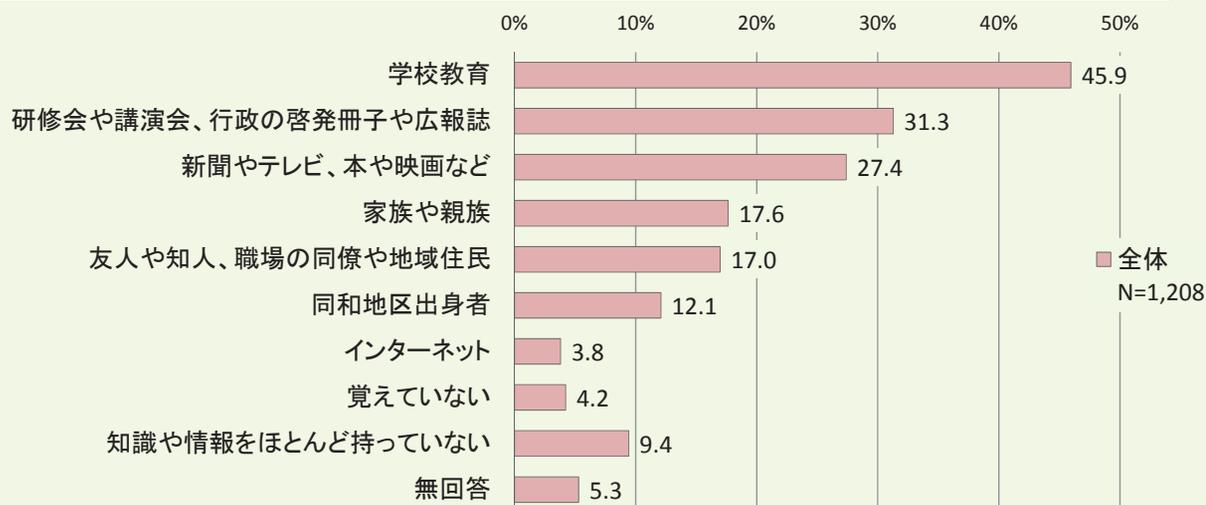


選択肢の内、同和問題（部落差別問題）に対する正しい知識を伝えていると思われるものは、「学校の授業で」「講演会や研修会で」「テレビ・ラジオ・新聞・本などで」「市や県の広報誌や冊子などで」の四つとなりますが、これらを選択した人の合計は46.6%でした。

年代別の回答傾向を見ると、義務教育段階から同和教育（部落差別問題解消教育）を受けてきた60歳未満の年代のほぼ過半数が「学校の授業で」と回答していて、60歳以上の年代との間に、はっきりとした違いがあることがわかります。

【知識や情報の提供者】

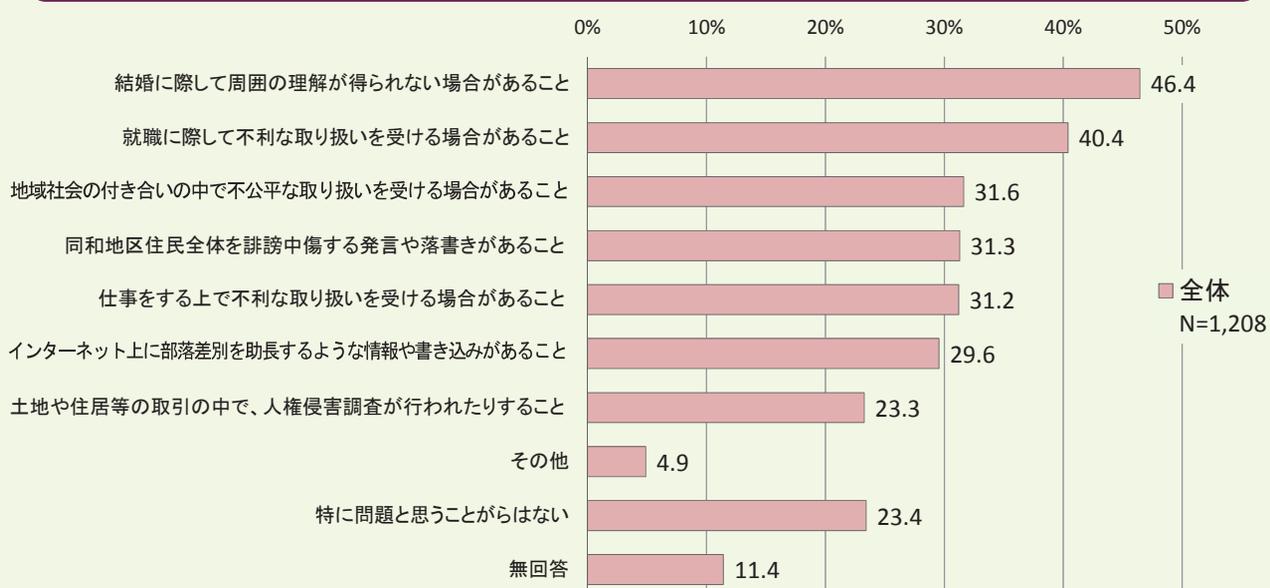
問. あなたの同和問題（部落差別問題）に関する現在の知識や情報は、何を通して得たものですか。



予断や偏見が含まれやすい「インターネット」は3.8%、「家族や親族」は17.6%であったのに対し、「学校教育」は45.9%、「研修会や講演会…」は31.3%となっていて、「知識や情報をほとんど持っていない」は9.4%でした。なお、年代別の回答傾向では、知識や情報を主に「学校教育」から得ているのは60歳未満の年代で高く、「研修会や講演会…」から得ている割合は60歳以上の年代で高くなっていました。

【同和地区住民の人権に関する意識】

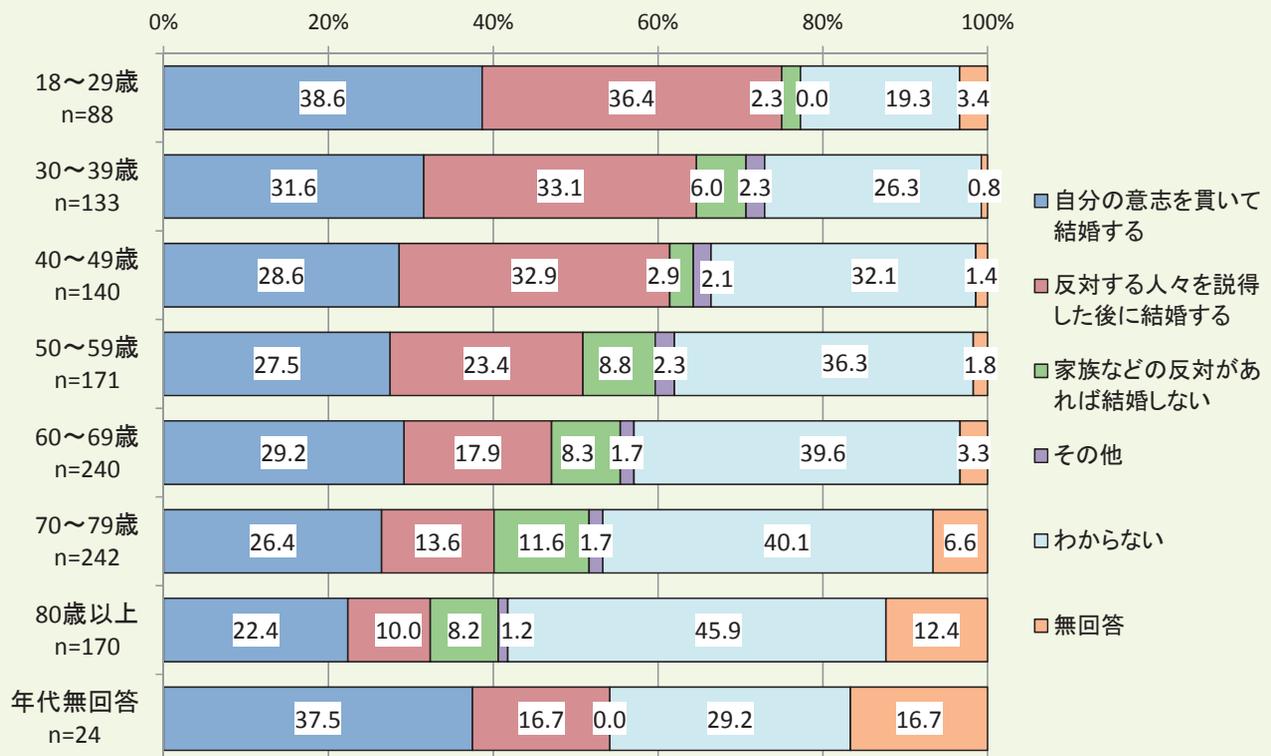
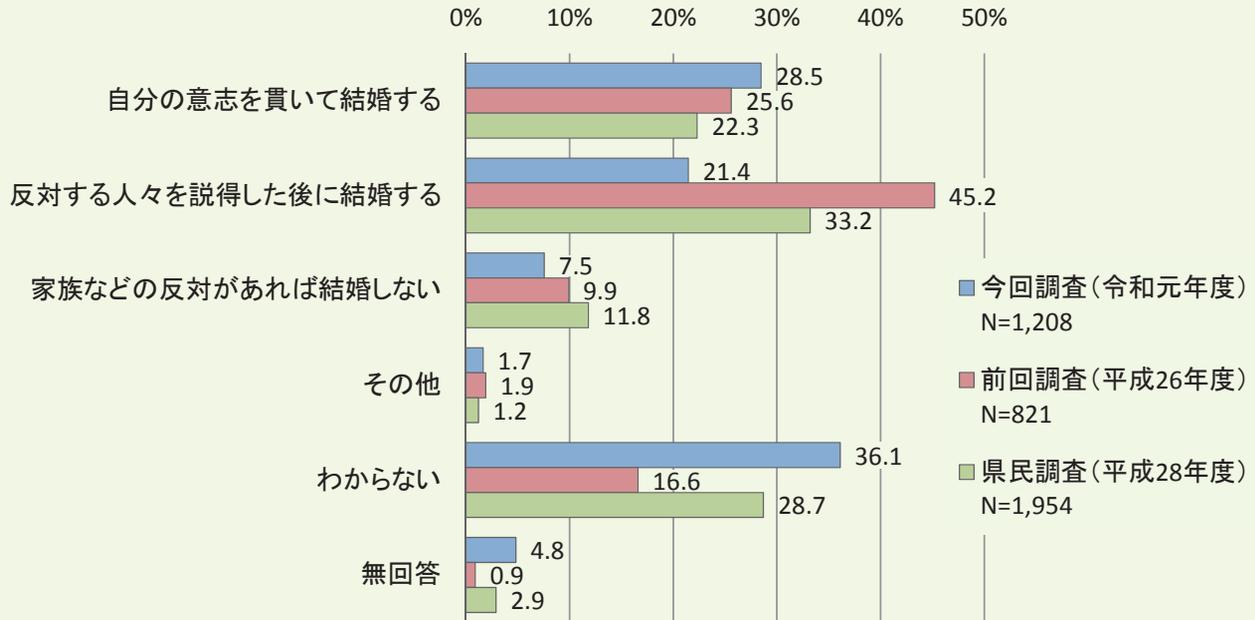
問. 同和地区住民の人権に関する現状で、特に問題であると思うものすべてに○をつけてください。



近年、課題となってきた「インターネット上に部落差別を助長するような…」や「土地や住居等の取引の中で、人権侵害調査…」に対する認知度が、相対的に低くなっています。また、「特に問題とすることがらはない」が23.4%、「無回答」も11.4%となっていて、住民のおよそ3人に1人は、部落差別問題に関する正確な知識・情報を持っていない状態にあることが分かります。

【自身が結婚しようとした際の態度】

問. あなたが同和地区の人と結婚しようとしたときに、家族や親類から反対を受けた場合どうしますか。

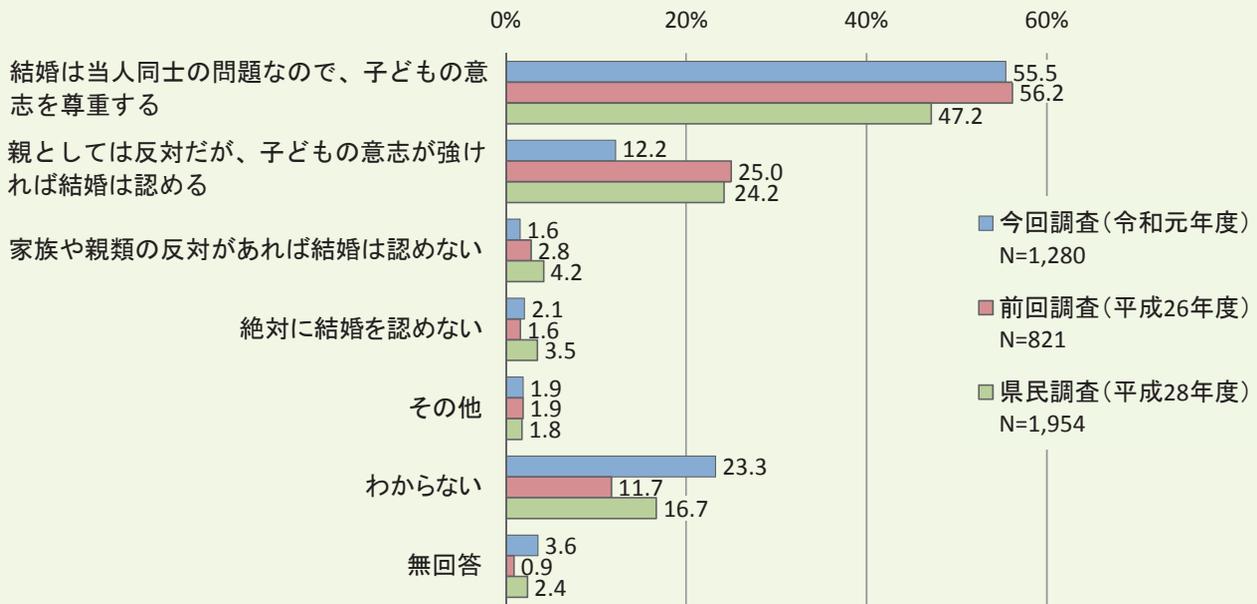


前回調査と比べ、「家族などの反対があれば結婚しない」が2.4%ポイント減少しています。また、「…説得した後に結婚する」が半減していて、代わりに「わからない」が増えています。

年代別の回答傾向を見ると、「自分の意志を貫いて結婚する」及び「…説得した後に結婚する」がいずれも年代が下がるにつれて増加しているのに対し、「わからない」は逆に、年代が下がるにつれて減少していました。これは、人権・同和（部落差別問題解消）教育の成果であるとともに、時代とともに結婚観が変化し、誰と結婚するかは当事者が決めることという考え方が、一定の広がりを持ってきた結果でもあり得ると思われま

【自分の子が結婚しようとした際の自身の態度】

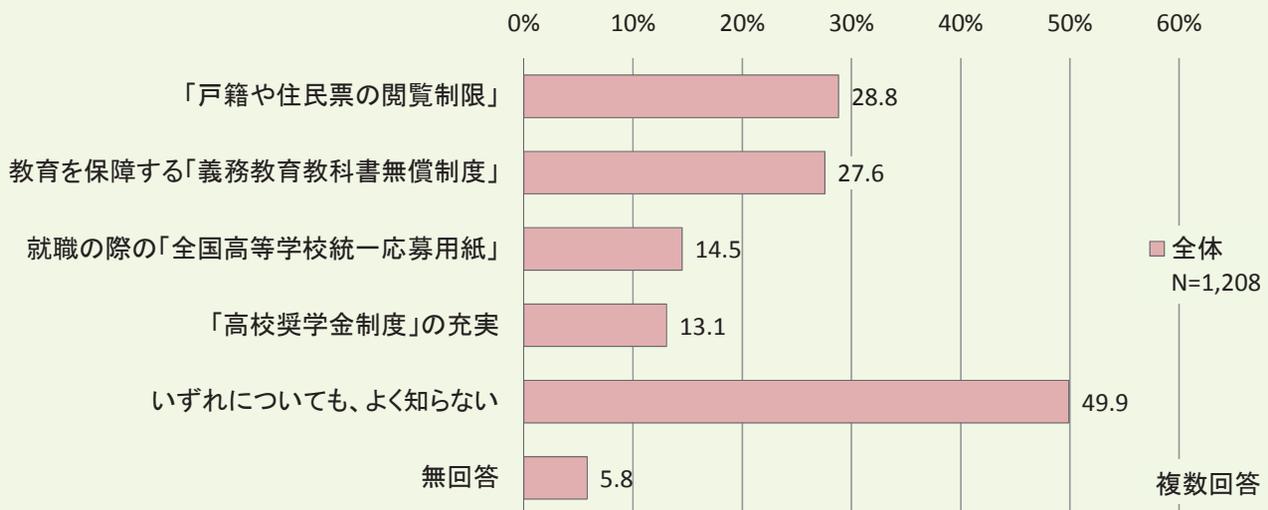
問. あなたのお子さんが同和地区の人と結婚しようとしたとき、あなたはどうしますか。



前回調査と比べると、「わからない」が11.6ポイント増加しており、代わりに「…反対だが…結婚は認める」が12.8ポイント減少していました。これは「…反対だが」という忌避意識を持つ住民の減少であり、「わからない」の増加は教育や啓発の必要性や重要度を表していると言えます。しかし、年代別の回答傾向では「わからない」を選んだ割合が40歳未満の年代で減少していたことから、これは人権・同和（部落差別問題解消）教育の成果でも考えられます。

【差別をなくすための運動をきっかけに生まれた制度の認知】

問. 部落差別をなくすための運動をきっかけとして生まれた次の制度の内、あなたがよく知っているものすべてに○をつけてください。



「義務教育教科書無償制度」など、全ての住民の人権を守るための制度や仕組みが、部落差別解消の取り組みの中で生み出された事実が、まだ十分に認知されていないことが分かります。

教育や啓発の場で、このような部落差別解消の取り組みが、国民全体の教育保障や就労保障、プライバシー保護に大きく役立ってきたことを、今後とも多くの人に知らせていく必要があります。

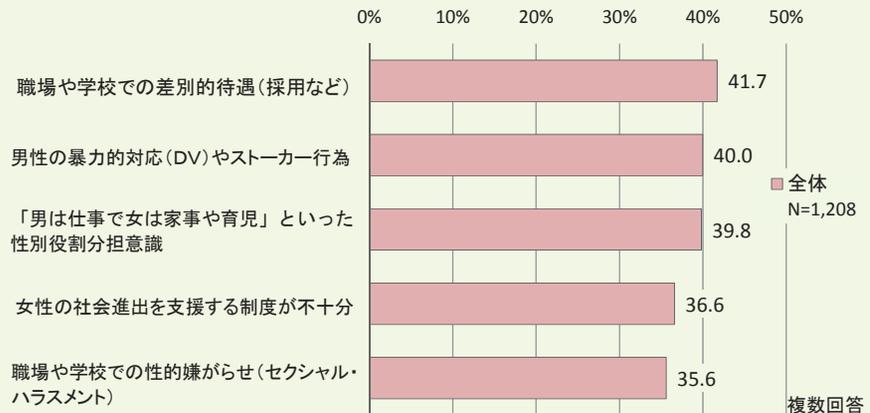
さまざまな人権問題

<それぞれ上位5項目を掲載>

【女性の人権】

問. 女性の人権に関することからで、特に問題であると思うものすべてに○をつけてください。

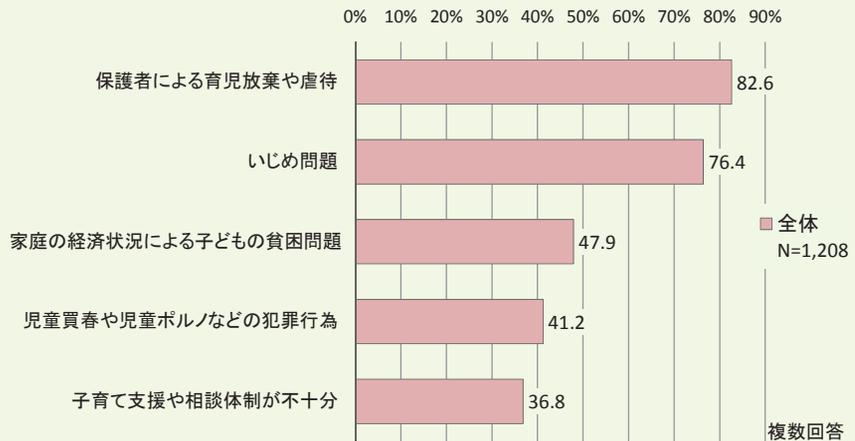
「職場や学校での差別的待遇」が41.7%（前回調査40.3%）で最も多く、次いで「…暴力的対応やストーカー行為」が40.0%（前回調査20.3%）、「…性別役割分担意識」が39.8%（前回調査36.9%）となっていました。



【子どもの人権】

問. 子どもの人権に関することからで、特に問題であると思うものすべてに○をつけてください。

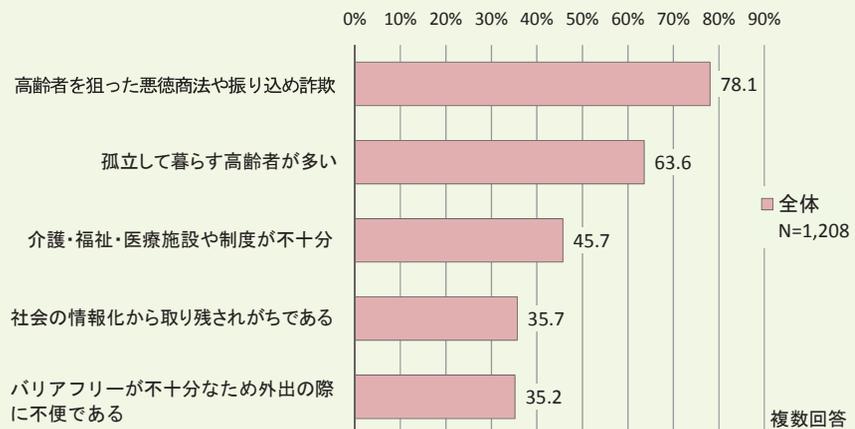
「…育児放棄や虐待」が82.6%（前回調査69.7%）で最も多く、「いじめ問題」も76.4%（前回調査45.6%）でしたが、「…子どもの貧困問題」は47.9%で、上位2項目の問題に対する関心の高さがうかがわれました。



【高齢者の人権】

問. 高齢者の人権に関することからで、特に問題であると思うものすべてに○をつけてください。

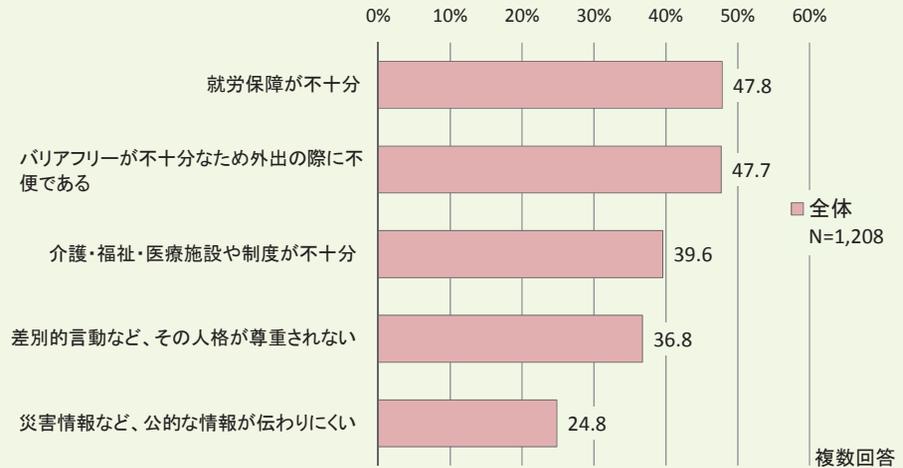
「…悪徳商法や振り込み詐欺」が最も多く78.1%（前回調査38.0%）、また「孤立して暮らす高齢者が多い」も63.6%でしたが、「…医療施設や制度が不十分」は45.7%となっていました。



【障がい者の人権】

問. 障がい者の人権に関することから、特に問題であると思うものすべてに○をつけてください。

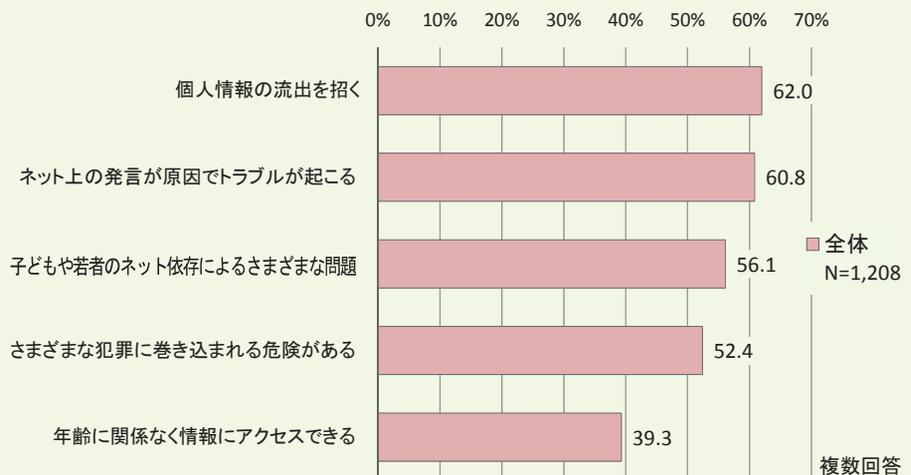
「就労保障が不十分」が最も多く 47.8%（前回調査 57.2%）、次いで「…外出の際に不便である」は 47.7%（前回調査 30.3%）、「…医療施設や制度が不十分」は 39.6%となっていました。



【インターネットに関連する人権】

問. インターネット上の人権侵害に関することから、特に問題であると思うものすべてに○をつけてください。

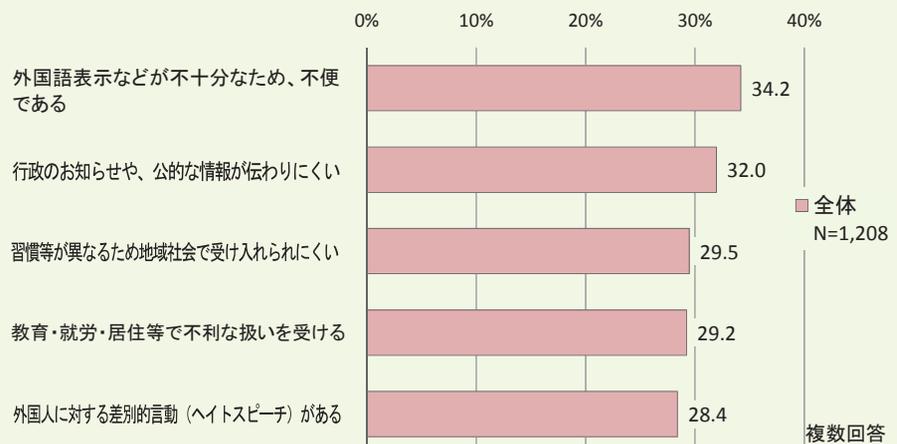
「個人情報の流出を招く」が最も多く 62.0%、次いで「ネット上の発言が原因…」が 60.8%、「子どもや若者のネット依存…」は 56.1%となっていました。



【日本に居住する外国人の人権】

問. 外国人の人権に関することから、特に問題であると思うものすべてに○をつけてください。

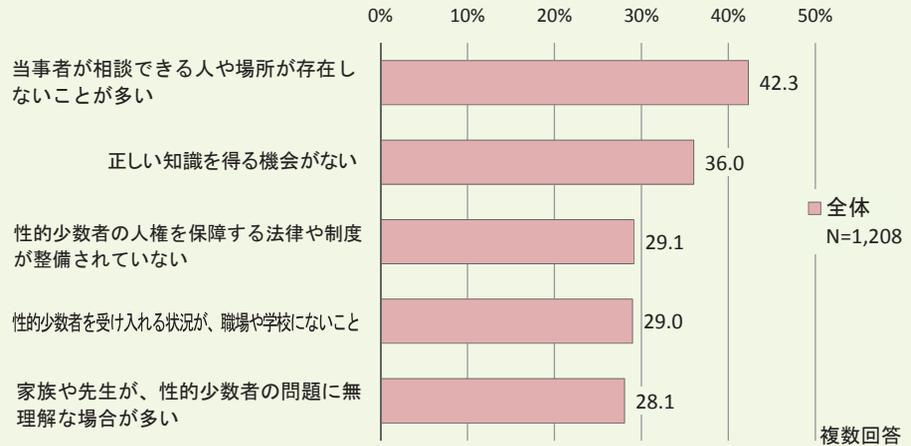
「外国語表示などが不十分…」が最も多く 34.2%（前回調査 34.6%）、次いで「…公的な情報が伝わりにくい」は 32.0%、「習慣等が異なるため…」は 29.5%（前回調査 28.9%）となっていました。



【性的少数者の人権】

問. 「性自認（こころの性）」や「性的指向（異性愛・同性愛・両性愛等）」に起因する、性的少数者の人権に関することから、特に問題であると思うものすべてに○をつけてください。

「…人や場所が存在しないことが多い」が42.3%と最も多く、次いで「…知識を得る機会がない」は36.0%、「…法律や制度が整備されていない」は29.1%となっていました。



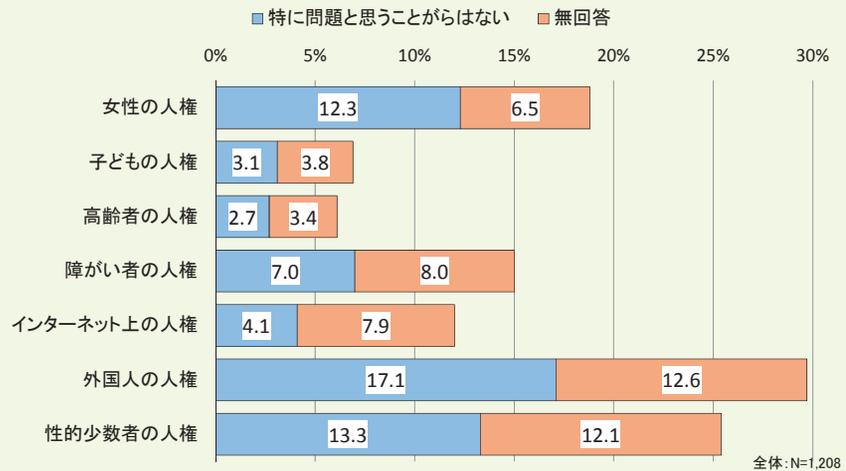
「さまざまな人権問題」に関する興味・関心について

それぞれの人権問題で「特に問題と思うことがらはない」及び「無回答」の割合が高いのは、「女性の人権」「外国人の人権」「性的少数者の人権」で、他の人権問題よりも興味・関心をあまり持っていない人が多くなっていました。

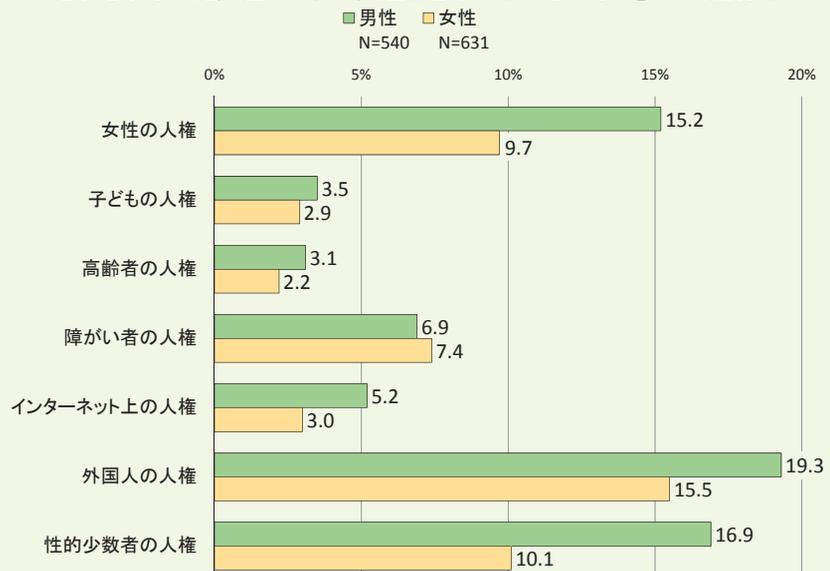
「女性の人権」については、男性が女性より5.5ポイント高いことから「女性の人権」に対し興味・関心をそれほど持たない男性が、まだ多いことがわかります。

「外国人の人権」については、市内に暮らす外国人が少ないこと、「性的少数者の人権」については、比較的新しい問題であるとともに、カミングアウトしている人も多くはないことから、どちらも身近に感じる機会がそれほど多くないものと考えられます。

さまざまな人権問題 「特に問題と思うことがらはない」及び「無回答」



さまざまな人権問題 「特に問題と思うことがらはない」 (性別比)

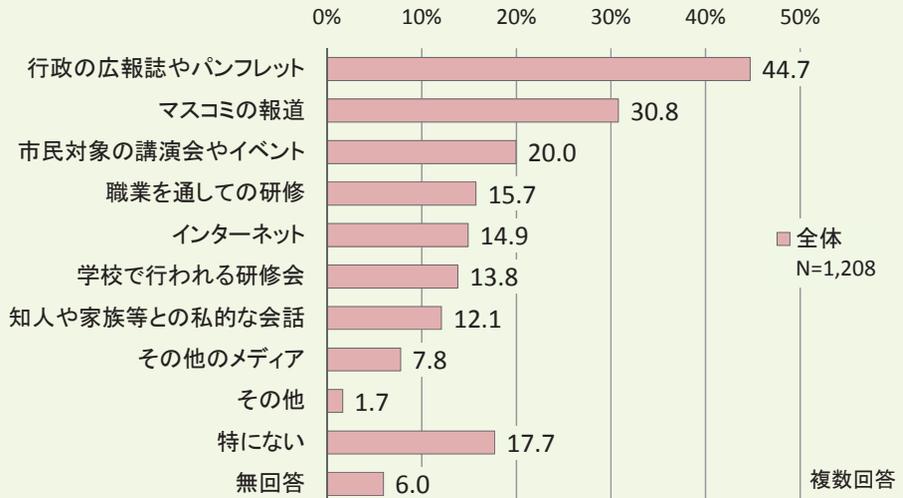


市が行っている啓発活動

【知識や情報の情報源】

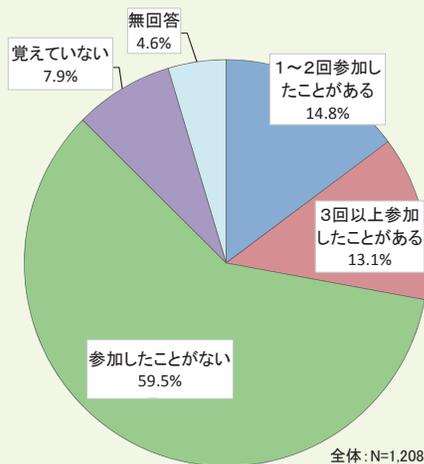
問. 人権問題に関する知識や情報を得る上で、役に立っていると思うものすべてに○をつけてください。

「行政の広報誌やパンフレット」が最も多く44.7%、次いで「マスコミの報道」が30.8%でしたが、予断や偏見が含まれやすい「知人や家族等との私的な会話」は12.1%、また「特になし」は17.7%となっていました。

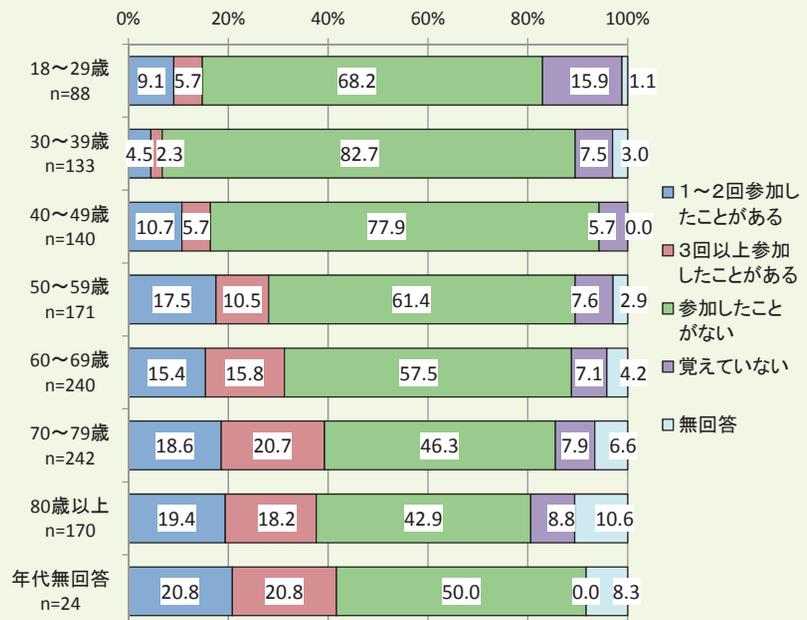


【講演会・研修会・懇談会などへの参加】

問. 市全体や校区で行われた、人権問題の講演会・研修会・懇談会などに、これまで参加されたことはありますか。



「参加したことがない」と回答した人は59.5%で、年代別で比べてみると、右グラフのとおりです。



子育てや仕事で忙しい年代にも参加しやすいように、広報のあり方、会場や開催時間帯、現役世代に身近なテーマの設定といった視点から、一層の工夫を加えていく必要があります。

飯塚市人権問題市民意識調査【報告書 概要版】 令和2(2020)年3月
 【発行】 飯塚市 【編集】 飯塚市市民協働部 人権・同和政策課
 〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号
 TEL (0948) 22-5500

※報告書に関する詳細内容は、
 飯塚市役所ホームページを
 ご覧ください。



<http://www.city.iizuka.lg.jp>